

山盲だより「むつぼし」第16号

発行 平成30年3月9日
山形盲学校総務部

今年度の活動を振り返って

PTA会長

今年度のPTA活動は、15名という少ない会員数の中でスタートいたしました。

研修会、友遊自然塾、点字ブロック理解推進事業など様々ありましたが、多くの会員の皆様の参加により、無事終わることができました。ありがとうございました。

その他、今年度は、魅力あふれる特別支援学校づくり事業として、第1回『来て、見て、触って、やってみて～体験！見えない、見えにくい世界～』が、霞城セントラルで開催されました。

当日は、その事業と一緒に、「点字ブロック理解推進事業」を行いました。本校の児童生徒、保護者、山形駅、山形警察署など多くの皆様の御協力をいただきながら、メッセージカード入りのポケットティッシュを配り、理解と協力を訴えました。

また、他の高校の生徒さん、関係者の皆様と一緒に様々な活動を行いました。お陰様で多くの一般の方の参加もあり、盲学校を知っていただくよい機会となりました。

本校の児童生徒数は、年々減少傾向にある中、地域、各関係機関の方々の御協力と御理解を得ながらではありますが、これからもみなさんでPTA活動を盛り上げていきましょう。

点字ブロック理解推進事業

※児童生徒の活動の様子の写真を掲載

「来て、見て、触って、やってみて～体験！見えない、見えにくい世界～」
(魅力あふれる特別支援学校づくり事業)

期 日：平成29年9月30日(土)

場 所：JR山形駅霞城セントラル アトリウムにて

点字ブロック理解についてのチラシとティッシュを配りました。

友遊自然塾について

保体部長

学校のグラウンドで芋煮会をしました。そのあと、体育館に集まり、サウンドテーブルテニスをしました。子供たちは笑顔で楽しく過ごしました。また、親子で親睦を深めることができたと思います。

第41回県特別支援学校PTA連合研修大会

テーマ『自分らしく生きるために 今 できること』

平成29年10月24日（火）ヒルズ・サンピアにて（5名参加）

参加された保護者の方の感想を紹介します。

・丹野つゆ子さんの講話を聞いて

私としては子どもの将来像が見えないでいますが、丹野さんは自分から動いて事業所を設立するという行動をされたことにすごく感銘いたしました。子供のために何か一つでもできることを見つけなければと思わされました。

・全体会は山形養護学校卒業生保護者の方が講師となり、お話しくださいました。誰しもみんなが直面する学校生活後のことでした。子供が自分らしく過ごせる場所がまわりになかったので、まずNPO法人を立ち上げ、今はいろんな人の助けを借りながら、事業所を設立しようとしている話でした。その中で、子供との向き合い方などがありました。自分が子供のためになんでもやってやらなければと必死になってしまい、笑顔もなくなり、気持ちの余裕もなくなってしまったそうです。その時に、周りの人たちが少し子供から離れる瞬間を作った方がいい（仕事など）、リフレッシュにもなるからと勧めてくれたそうです。自分に余裕が出てくると笑顔になり子供と接する態度も変化が出てきたそうです。午後からの分科会も就学と社会自立に向けての話でしたので、あと数年で自分の子供も直面することなので、とても勉強になりました。

各学部の行事より

※児童生徒の活動の様子の写真を掲載、以下は写真のコメント

<幼小学部>

- ・遠足——蔵王ドッコ沼に行きました。ロープウェイやリフトに乗りました。
- ・4年理科の学習—ヘチマの実を切って煮て、たわしを作りました。

<中学部>

- ・自立活動校外学習—象にえさをあげたゾウ！（八木山動物園）
- ・交流及び共同学習—音楽の授業で一緒に合唱しました。（上山北中学校）

<高等部>

- ・（理療科）交流及び共同学習—山辺高校看護学科の生徒とあん摩体験をしました。
- ・（普通科）進路学習会—社会で必要なマナーや身だしなみ、お辞儀の仕方等について学習しました

<寄宿舍>

- ・クリスマス会—聾学校のみなさんと楽しいクリスマスパーティー！みんなで盛り上がりました！
- ・フリーカフェ—寄宿舍で仲間とすごす和やかな一時。大切にしたいですね。

旅立つ二人からのメッセージ

在校生へのメッセージ

高等部理療科（専攻科）3年 男子生徒

山形盲学校に入学して、四年の月日が経ちました。これまで様々な困難がありましたが、いつも支えてくれたのは家族や先生、友人でした。陰から支えてくれた家族、解らないことがあれば解るまで教えてくれた先生方、勉強以外にも相談にのっていただき、理療人としても様々なことを教えていただきました。支えてくれる人達がいるからこそ、私は今ここに立っています。そのことをしっかりと胸に留め、自分の道を歩いていこうと思います。本当にありがとうございました。

卒業生からの言葉

高等部普通科3年 男子生徒

盲学校では、幼稚部の年中から普通科三年までの十四年間お世話になりました。幼稚部や小学部に入学した時、そして寄宿舍に入舎した時は、とても泣き虫で、先生方にはたくさん迷惑をかけました。その後、私は大きく成長し、泣いたり怒ったりせず、楽しい学校・寄宿舍生活を送ることが

できました。支えてくれた先生方や生徒のみなさんには本当に感謝しています。本当に、長い間ありがとうございました。

表彰の記録

第17回 全国障がい者スポーツ大会愛顔つなぐえひめ大会

1位 砲丸投 理3 男子生徒

2位 ソフトボール投 理3 男子生徒

第38回 東北文体点字競技大会

中学部 1位 中2 男子生徒

第14回 山形県特別支援学校作品展

審査員特別賞 造形・美術部門 保2 男子生徒

優秀賞 総合部門 小4 男児児童、中2 男子生徒、中2 女子生徒

上山市総合文化祭 短歌の部

優秀賞 中2 女子生徒

入選 小4 男子児童、中1 女子生徒、中1 男子生徒

上山市総合文化祭 児童生徒作品展

優秀賞 小4 男子児童

中1 女子生徒

中2 男子生徒

中2 女子生徒

文集かみのやま

入選 小4 男子児童

中2 男子生徒

上山市英語弁論暗唱大会

優秀賞 中2 男子生徒

編集後記

日ごろより お忙しい中、PTA活動に御協力いただきありがとうございます。たくさんの方に御協力いただきまして、この度、無事に「むつぼし第16号」を発行することができました。

(総務部長)